

令和6年1月23日
地方創生推進部ミライエ長岡企画推進室

「米百俵プレイス ミライエ長岡」オープンから半年 互尊文庫の図書24,000冊の貸し出しを始めます

令和5年7月22日にオープンした、長岡市の人材育成と産業振興、イノベーションの拠点「米百俵プレイス ミライエ長岡」西館の来館者数が、半年で20万人を超えました（令和6年1月21日現在 203,637人）。

3階・5階に移転オープンした「互尊文庫」は4万冊の図書と300タイトルの雑誌を所蔵し、「くらす」「はたらく」「ひらめく」のエリアテーマと、15の選書テーマによるテーマ別で配架しているほか、いつ来ても新しい本に出会えるように、図書は6か月貸し出しをせずに館内でご覧いただくなど、新しいスタイルの図書館として、市内の他の図書館とは異なる運営をしています。

このたび、オープンから6か月が経過したことから、図書の貸し出しを開始します。

1 図書貸出

(1) 貸出開始日

令和6年2月1日（木）

(2) 貸出基準

- ・今回は開館時に配架した4万冊の蔵書のうち約6割にあたる約24,000冊の貸し出しと予約を開始。
- ・各テーマを構成する上で重要な役割を果たす図書（キーブックス※）は、貸し出しをしない。キーブックスや6か月を経過していない本、コミックスについては、「館内利用」と表示。
- ・5階の図書はイノベーションサロンに関連付けた図書を配架し、館内利用のみ。
- ・雑誌は最新号を配架した後にバックナンバーを貸し出し。
- ・今後受け入れる図書も、6か月経過後の翌月1日から貸し出し。



※キーブックスとは

15の選書テーマの根幹となり、そのテーマを網羅的に表す図鑑や事典、テーマを象徴するような図書などが含まれ、棚を構成するための主要な図書です。

◆小テーマ「日本人のこころ」のキーブックス例

『果てしなく美しい日本』ドナルド・キーン/著（講談社 2002年）

◆小テーマ「溢れ出る虫への愛」のキーブックス例

『完訳フェアブル昆虫記』ジャン=アンリ・フェアブル/著 奥本 大三郎/訳（集英社 2005年）

- ・キーブックスに該当する図書を借りたい場合、同じ本が市内の他の図書館にあれば、互尊文庫に取り寄せて借りることができます。

2 互尊文庫の利用状況

貸出カードの登録者数は大幅増

- ・7月22日から12月末までの期間で、自習席も予約できる貸出カードの新規登録が1,342件ありました。旧互尊文庫の年間登録者数のおよそ8倍で、学生を中心に登録が伸びています。

【参考】

● 互尊文庫のコンセプト・特徴

互尊文庫は「毎日にひらめきをプラス」をコンセプトに、本の魅力を最大限発揮させる本棚づくりを通して、利用者が本を手に取りやすい場所、親しみやすいと感じてもらえる場所」を目指しています。

- 大正時代に開館した初代から数えて、四代目となる互尊文庫は、これまでの歴史と文化を引き継ぎながら、「新しいスタイルの図書館」としてオープンしました。
- 4万冊の本を、NDC（日本十進分類法）ではなくジャンルの壁を超えて「くらす」「はたらく」「ひらめく」のエリアテーマと15の選書テーマのテーマ別で配架。
- ICタグシステムの導入により貸出・返却・予約受取りをセルフ化して利便性を高めるとともにプライバシーにも配慮しました。
- 座席数は約400席（うち18席は館内端末またはWebから予約可能な電源コンセント付の自習席）とし、全館無料Wi-Fiを完備。学生の自習だけでなく、パソコンを持ち込んだデスクワークにも使えます。
- 出会いと交流を促進するため、会話や施設の写真撮影の制限は極力行わず、蓋付きであれば、飲み物や軽食も飲食可能。
- 運営はブックディレクター幅 允孝さんが代表を務める有限会社BACHと、株式会社図書館流通センターの共同体が受託しています。

● 開館時間など

○開館時間

施設全体 午前9時～午後9時 / 図書カウンター 午前9時30分～午後7時

※いずれも日曜日・祝日は午後6時まで

○休館日

- ・毎月第2木曜日（休日の場合は翌日）
- ・月末（土・日曜日の場合は翌月曜日）
- ・年末年始（12月29日～翌年1月3日）

〔 問い合わせ：ミライエ長岡企画推進室 鈴木 電話0258-86-6008 〕